八戸市中央卸売市場 **青果部** 取扱高実績

差し替え

資料１

令和6年11月29日（金）
八戸市中央卸売市場運営協議会

１．取扱高　令和6年1月 から 10月まで【開市日数209日】
数　量：　78,690　t
金　額：　19,343,159　千円

２．月別取扱高

区　分	単　位	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合　計（1月～10月）	前年取扱高（1月～10月）
野　菜	数量（ｔ）	4,233	5,037	5,690	5,840	5,101	7,486	9,258	7,141	7,550	11,910			69,246	70,373
	前年比（%）	97.9%	100.7%	83.0%	111.2%	92.5%	94.9%	101.7%	102.8%	91.9%	105.6%			98.4%	
	金額（千円）	1,111,642	1,353,397	1,609,322	1,517,887	1,375,087	1,293,507	1,779,001	1,638,510	1,818,594	2,321,900			15,818,847	15,083,909
	前年比（%）	100.5%	101.6%	100.6%	112.2%	114.8%	97.6%	115.9%	117.1%	97.0%	98.4%			104.9%	
果　実	数量（ｔ）	1,004	1,064	999	853	797	630	691	1,121	937	1,121			9,217	9,446
	前年比（%）	102.3%	97.3%	86.9%	103.8%	108.4%	94.9%	91.6%	95.2%	100.9%	98.2%			97.6%	
	金額（千円）	326,886	358,050	358,753	337,742	310,131	297,182	309,478	420,771	308,004	384,831			3,411,828	3,212,912
	前年比（%）	114.4%	114.6%	104.8%	123.8%	113.1%	101.9%	95.8%	101.6%	97.7%	100.8%			106.2%	
その他（野菜・果実加工品、鳥卵、その他）	数量（ｔ）	23	28	42	26	30	16	16	14	12	20			227	235
	前年比（%）	85.2%	103.7%	120.0%	118.2%	96.8%	76.2%	88.9%	82.4%	75.0%	95.2%			96.6%	
	金額（千円）	14,422	17,393	15,829	13,051	12,042	6,924	6,860	9,259	7,068	9,636			112,484	131,559
	前年比（%）	79.5%	101.2%	85.4%	98.9%	80.7%	67.4%	83.5%	92.8%	79.1%	79.1%			85.5%	
合　計	数量（ｔ）	5,260	6,129	6,731	6,719	5,928	8,132	9,965	8,276	8,499	13,051			78,690	80,054
	前年比（%）	98.7%	100.1%	83.8%	110.3%	94.4%	94.9%	100.9%	101.7%	92.7%	104.9%			98.3%	
	金額（千円）	1,452,950	1,728,840	1,983,904	1,868,680	1,697,260	1,597,613	2,095,339	2,068,540	2,133,666	2,716,367			19,343,159	18,428,380
	前年比（%）	103.1%	104.0%	101.2%	114.0%	114.1%	98.2%	112.3%	113.5%	97.0%	98.6%			105.0%	

３．入荷及び価格の状況

〔野　菜〕野菜全体では、1月から10月までの前年比は取扱量で1.6%減、取扱金額で4.9%増となった。
各月の平均気温は3月を除き例年を上回っており、7月から9月は記録的な猛暑となった。月の平均気温が高かったものの、2月の大雪、3～5月の天候不良、8月の台風など、天候不順となる日も多かった。
3月の大根、5月のキャベツなど生育不良により入荷量が減少し高値となる品目が多くあった。春堀りのごぼうは作業の遅れから4月から5月にかけて入荷量は多かったが、気温の上昇に伴い引き合いが弱まり、荷動きはやや鈍化した。長いもは入荷量は多いもののC品が中心となった。にんにくは小玉傾向であったが、数量減による高値が続いた。8月は低気圧や前線、台風5号の影響で曇りや雨の日が多かったため日照時間が少なく、全国的な天候不良によりキュウリ、トマト、白菜、キャベツ、ネギ、レタス、茄子など多くの品目の生育に影響を及ぼしたが、ピーマンは生育が順調で安定した入荷となった。

〔果　実〕果実全体では、1月から10月までの前年比は取扱量で2.4%減、取扱金額は6.2%増となった。
1月から3月は県内品では苺とりんご、県外品ではみかんなどの柑橘類が主力の販売となった。りんごは令和5年産のりんごの貯蔵量が少なく高値が続いた。4月から5月は県外産、県内産ともに引き続き苺が主力であったが、輸入品はニュージーランド産サンゴールドキウイの入荷が始まり、堅調な荷動きで推移した。さくらんぼは昨年の高温の影響で奇形が多く、また6月上旬の低温が影響し、入荷量は前年の50%で品薄による高値となった。特に気温の高かった6月から8月については、全般的に前進出荷の傾向となった。スイカは山形県産、秋田県産に品薄感が出たことと、お盆需要が重なり堅調な荷動きだった。輸入バナナは7月にフィリピン産の入荷減とエクアドル産の搬入港乱れの影響により不安定な入荷となった。9月からりんごが主力となり、小玉果の引き合いが強く高値で推移している。

八戸市中央卸売市場 **花き部** 取扱高実績

差し替え

資料１

令和6年11月29日（金）
八戸市中央卸売市場運営協議会

１．取扱高　令和6年1月 から 10月まで【開市日数201日】

数　量：　9,125　千本

金　額：　882,738　千円

２．月別取扱高

区　分	単　位	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合　計（1月～10月）	前年取扱高（1月～10月）
切　花	数量（千本）	600	669	1,333	774	796	646	775	1,185	971	592			8,341	8,897
	前年比（%）	94.6%	100.5%	86.2%	102.9%	90.1%	90.5%	102.6%	92.7%	91.5%	97.5%			93.8%	
	金額（千円）	54,307	61,167	125,903	65,064	75,321	51,376	67,325	121,118	98,771	63,405			783,757	851,652
	前年比（%）	85.1%	89.5%	85.2%	99.7%	104.0%	87.0%	97.5%	95.3%	88.8%	93.9%			92.0%	
鉢　物	数量（千本）	5	10	11	15	14	8	4	1	4	8			80	76
	前年比（%）	125.0%	142.9%	78.6%	115.4%	116.7%	88.9%	100.0%	50.0%	133.3%	100.0%			105.3%	
	金額（千円）	2,767	4,531	5,484	6,664	7,435	3,878	3,296	2,148	2,947	4,684			43,834	45,671
	前年比（%）	137.0%	125.2%	77.3%	86.3%	101.6%	87.8%	89.5%	91.2%	92.5%	110.2%			96.0%	
その他（枝物、観葉植物、苗物、植木、加工品、その他）	数量（千本）	37	101	77	108	157	71	36	25	39	53			704	704
	前年比（%）	102.8%	87.8%	92.8%	106.9%	136.5%	72.4%	92.3%	64.1%	102.6%	132.5%			100.0%	
	金額（千円）	2,367	4,773	3,853	9,641	12,258	6,418	3,603	2,685	3,729	5,820			55,147	57,332
	前年比（%）	101.0%	93.1%	69.8%	97.2%	122.2%	78.7%	90.7%	74.9%	99.2%	118.3%			96.2%	
合　計	数量（千本）	642	780	1,421	897	967	725	815	1,211	1,014	653			9,125	9,677
	前年比（%）	95.3%	99.0%	86.5%	103.6%	95.7%	88.3%	102.1%	91.7%	92.0%	99.7%			94.3%	
	金額（千円）	59,441	70,471	135,240	81,369	95,014	61,672	74,224	125,951	105,447	73,909			882,738	954,655
	前年比（%）	87.2%	91.4%	84.3%	98.2%	105.8%	86.1%	96.7%	94.6%	89.3%	96.4%			92.5%	

３．入荷及び価格の状況

〔切　花〕切花全体では、1月から10月までの前年比は取扱量で6.2%減、取扱金額で8.0%減となった。

各月の平均気温が高かったため産地での開花調整が難しく、予定よりも前進傾向になることが多かった。また、高温による品質低下や円安による輸入品の単価高により流通量が減少した。3月は春彼岸で需要増が見込まれたが、2月の大雪による影響で買い控えが見られた。5月の母の日需要はやや高値であったが、引き合いも良かった。カーネーションは定番の赤だけでなく派手なものから落ち着いた色彩まで幅広く取引された。6月から7月は愛知県産を中心とした菊の入荷が増加し、安値が続いた。8月のお盆需要は、高温により全国的に入荷減となったため、高値となった。9月の秋彼岸は例年に比べると引き合いは控え目であったが、8月の台風や高温により流通量が減ったため単価高で取引された。また、北海道産のカーネーションは、高温による品質低下で入荷量が激減した。

〔鉢　物〕鉢物全体では、1月から10月までの前年比は取扱量で5.3%増、取扱金額は4.0%減となった。

年間を通して関東から贈答用の胡蝶蘭の入荷があり、価格も安定している。1月、2月は胡蝶蘭やシンビジュームなどの蘭類の動きが良かった。3月は県産のサイネリアやアザレアの入荷があり、引き合いも良かった。6月から8月は気温が高い日が多かったため、蘭類、花鉢類の品質が安定せず流通量が減少した。9月の敬老の日に向けたリンドウや観葉植物の動きは例年に比べ鈍かった。